

## 新潟県中越沖地震から立ち直る住民支援を！

かしわざきししいや かとりじんじゃ

# 震源地に最も近い鎮守様 新潟県柏崎市椎谷 香取神社 修復支援カンパご協力お願い

昨年7月にお知らせした香取神社の修復工事のその後をご案内いたします。地元住民の方々の総意で同神社の修復が決まり、今年7月完成を目指して修復工事が動き出しました。12月の建て起こしの後、床板・天井などの撤去・調査(1月)、耐圧板基礎工事(2月)、揚げ方(3月)、土台・柱など構造躯体取り替え(3~4月)、下げ方(4~5月)、大工工事・耐震補強工事(5~6月)の手順で工事が行われる予定です。かつて日本海を往来する北前船が寄港した、歴史ある集落の貴重な共有財産であり、海の安全を見守る椎谷香取神社の修復再生のために、当ネットとしても地元住民の方々の修復支援カンパ募集活動にご協力をさせていただいております。みなさまの温かいご支援・ご協力と、広い呼びかけをお願いいたします。

KARTH 地震ネット本部責任者 田村佳英

椎谷香取神社の建て起こしが昨年末、倒壊防止の応急処置として行われて以来、この小正月明けより再スタートしました。修復費用2570万円のうち、1853万円は新潟県中越沖地震復興基金より地域コミュニティ再生事業メニューの適用を受けて、交付されることになり、お陰様で地域のかなかの修復にむけたコンセンサスも得る中で、スタートを切ったわけですが、自己資金700万円には、高齢化した地域住民負担ではなかなか負いきれないのが現状です。引き続き、皆様からの浄財・ご支援を受け付けておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

椎谷町内会長 佐藤正幸



床板や天井が取り外され、建て起こされた拝殿(2009年12月)



被災した建物を案じて駆けつけて下さった人々(2009.10)



被災神社建物修復に向けての安全祈願祭(2009.11.3)



## KARTH地震ネット新潟事務局 長谷川さんより

椎谷香取神社の修復支援にたいしては、多くの皆様のお支えもあり、お陰様で、まずはこの地での修復を、椎谷集落60世帯の総意によりとりきめることができましたようです。

昨年、みぞれの降る中でしたが、安全祈願祭が執り行われ、まずは倒壊防止の措置を執らせていただくことができました。これから、山古志で屋根だけが残った神社の修復が行われたのと、かなり似通った方法になるかとは思いますが、屋根を持ち上げて、折損して耐力のなくなった柱を取り替えての修復工事となる見込みです。前頁の昨年12月の写真は、足元のふらつき防止サポートを施して、建物の右方向からの支え、内部桁廻りからワイヤをかけての引っ張りつけを行い、建て起こしをしたところです。今年は降雪が早く、色々と心配事もまだありますが、ここまでまずは見通しがつきましたことをご報告申し上げます。

なお、修復費用は、現地が、車での資機材の搬入がかなわないため、また山古志池谷の神社に比べて、ふた回りほど大きく、また幣殿、本殿の修復もあるため、2000万円半ばに及ぶ見積もりが提示されています。復興基金の補助制度もありますが、修復費用の1/4は自己資金によらなくてはなりません。集落の高齢化も進む中で、まだまだ修復には、高い壁が立ちはだかっております。

なにとぞ皆様の引き続きのご支援を賜りたく、よろしく申し上げます。

【神社修復費用カンパの振込先】 KARTH地震ネット本部の関西木造住文化研究会にお振込み下さい。

郵便振替口座 00920-6-137031

名義： 関西木造住文化研究会 代表 田村佳英 (タムラ ヨシヒデ)

京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町632、TEL 075-411-2730

\* 研究会の口座と兼用のため、通信欄に「[KARTH地震ネット 神社修復カンパ](#)」と明記して下さい。

【問い合わせ先】 KARTH新潟事務局 長谷川順一 (住まい空間研究所 / 新潟市中央区)

TEL 090-3098-8683、 e-mail : [niigata\\_sumai@yahoo.co.jp](mailto:niigata_sumai@yahoo.co.jp)

**修復カンパの呼びかけにご協力いただける方々募集中！**

ご協力いただける方は上記KARTH地震ネット本部までご連絡下さい。

(財)京都市景観・まちづくりセンターにおいてもカンパ募集のチラシを展示して頂いています。

### KARTH地震ネットとは

いつどこで起こるか分からない大地震に対し、阪神・淡路大震災以降の各地の被災体験や教訓をふまえて、非常時の被害を最小限に抑え、被災後の暮らしや地域固有の木造住文化を活かした、地域の再生・復興を迅速に進める手法を研究・実践している全国ネットワーク組織〔非営利〕です。

地域固有の木造伝統住文化を活かした安心して暮らし続けられる住まい・まちづくり実現のために、1999年より伝統木造住宅の防火・耐震性向上手法の研究開発に取り組んでいる「関西木造住文化研究会」が母体となっています。

#### KARTH地震ネット本部

関西木造住文化研究会(略称KARTH:カース、Kansai Association for the Research in Traditional Housings)

京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町632、

TEL 075-411-2730 悠(ユウ)計画研究所内、FAX 075-411-2725、

E-mail:info@karth.sakura.ne.jp、〒602-8485 <http://karth.blog13.fc2.com/>、

**KARTH地震ネットブログ:** <http://karth-net.at.webry.info/>

(本部)責任者:田村佳英、ネット編集:武田真理子、ブログ管理:藤原哲也

(新潟事務局) 長谷川順一